

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

📌 宮崎県第5週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が47例あり、2021年の累積報告数は1004例となった。

□ 全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	男	肺結核	咳、痰
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		高鍋	80歳代	女	肺結核	咳、発熱
4類	つつが虫病	日南	60歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	女	—	ショック、腎不全、軟部組織炎、中枢神経症状
		宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹

□ 指定感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群								症状	
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代		80歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	13例		1	6	2	2	1			1	発熱、咳等
	都城	1例					1					
	延岡	7例		1		1	2	1	1	1		
	高鍋	19例	10		1	2	3	3				
	高千穂	1例						1				
	中央	6例							5		1	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は497人(定点当たり14.1)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

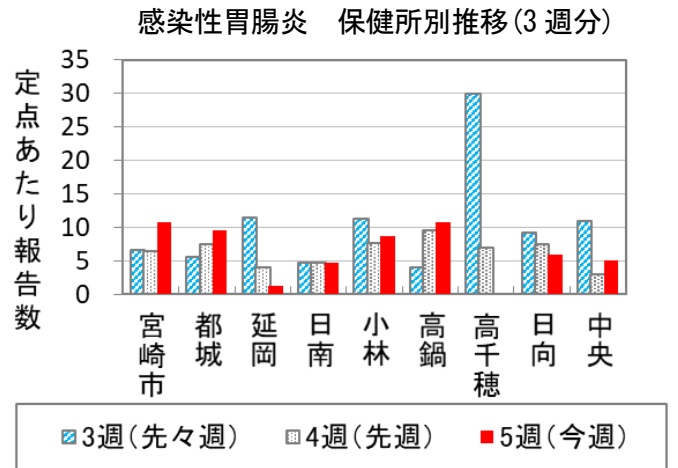
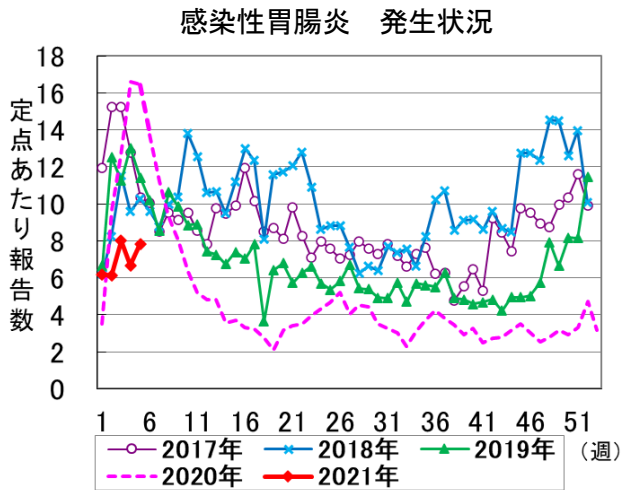
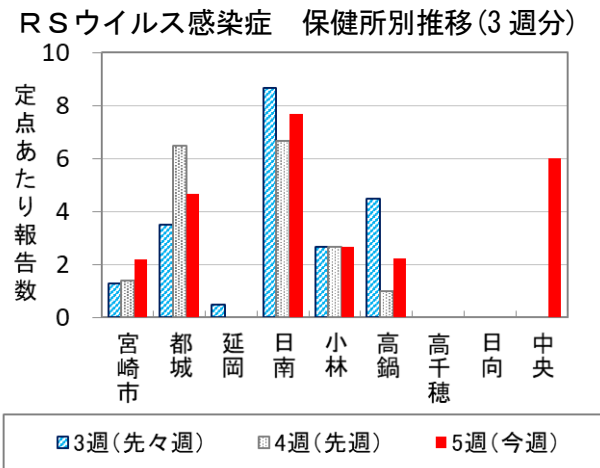
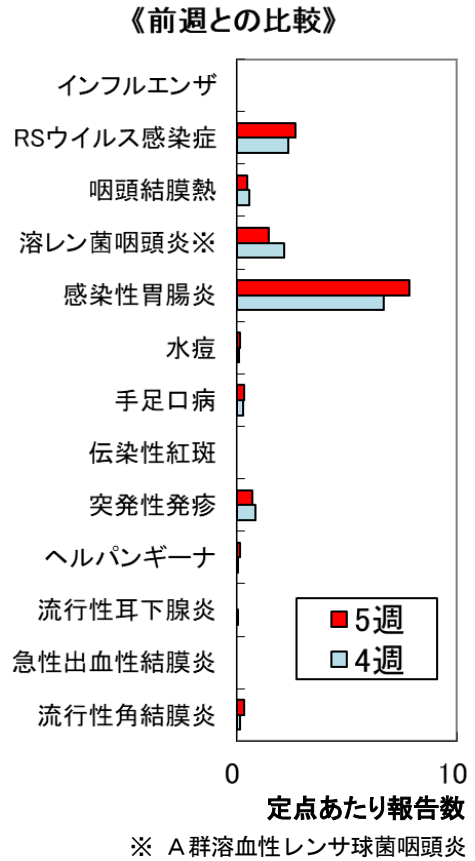
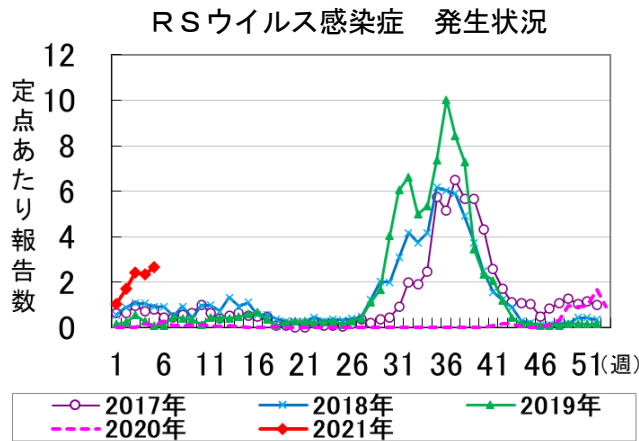
【RSウイルス感染症】

報告数は96人(2.7)で、前週比113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.73)の約3.7倍であった。日南(7.7)、中央(6.0)、都城(4.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は282人(7.8)で、前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(12.0)の約0.7倍であった。宮崎市、高鍋(10.8)、都城(9.5)、小林(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別1~2歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

📊 全国 2021 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 4 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	240 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18 例				
4類感染症	E 型肝炎	12 例	つつが虫病	3 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	13 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	69 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	10 例	風しん	1 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は750人(0.2)で前週比114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.43)の約0.6倍であった。宮崎県(2.4)、佐賀県(1.7)、長崎県、鹿児島県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は8,959人(2.8)で前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.6)の約0.4倍であった。鹿児島県(7.6)、宮崎県(6.7)、大分県(5.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	85	96	22	28		23	8	9			6
	定点当り	2.36	2.67	2.20	4.67	0.00	7.67	2.67	2.25	0.00	0.00	6.00
咽頭結膜熱	報告数	20	17	2	3	6	2		1		3	
	定点当り	0.56	0.47	0.20	0.50	1.50	0.67	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	78	52	11	3	19	16		2		1	
	定点当り	2.17	1.44	1.10	0.50	4.75	5.33	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	240	282	108	57	5	14	26	43		24	5
	定点当り	6.67	7.83	10.80	9.50	1.25	4.67	8.67	10.75	0.00	6.00	5.00
水痘	報告数	3	5		4						1	
	定点当り	0.08	0.14	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	11	12	10	1		1					
	定点当り	0.31	0.33	1.00	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	25	12	4	1		1	3		3	1
	定点当り	0.83	0.69	1.20	0.67	0.25	0.00	0.33	0.75	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	6	1			5					
	定点当り	0.06	0.17	0.10	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.17	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～5週)

2類感染症	結核	10例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例		
4類感染症	E型肝炎	3例	つつが虫病	12例(1)
				レジオネラ症
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)
	梅毒	5例(2)	百日咳	1例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1004例(47)		

()内は今週届出分、再掲